

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和7年3月5日（水）（午後1時30分から午後2時30分）
開催場所	福祉保健センター 多目的室
出席者	学識経験者（埼玉県立大学教授）：北畠 義典 蕨戸田市医師会：早船 直彦 蕨戸田歯科医師会：板橋 裕 戸田市薬剤師会：成塚 康之 戸田市社会福祉協議会：松山 由紀 戸田市町会連合会：永井 富治 戸田市商工会：金子 秀一 公募による市民：前野 裕子 公募による市民：高橋 美幸
欠席者	埼玉県南部保健所：安達 昭見 公募による市民：小川 敬洋
事務局	福祉保健センター 木村所長、岩崎課長、中沢課長、箱森副主幹、小山副主幹、古宮主任、高橋主事、軽部主事補
議題	（1）令和6年度における福祉保健センターの体制について （2）福祉保健センターにおける主な事業の取組状況について ①スマートウェルネスシティ推進プランに基づく事業について ②それ以外の主な事業について （3）その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	（1）次第 （2）委員名簿 （3）戸田市保健対策推進協議会条例 （4）資料1「令和6年度組織改正等について」 （5）資料2「福祉保健センターにおける主な事業の取組状況について」 （6）資料3「健幸アンバサダーパンフレット」 （7）資料4「带状疱疹ワクチンに関するリーフレット」

(会議発言の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	■開会
事務局	出席委員数報告をする。本日の出席委員数は9名、委任状提出2名。本協議会要綱第6条第2項により本協議会の会議は成立した。
事務局	■挨拶及び事務局紹介
会 長	■議事 (1) 令和6年度組織改正等について 事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料1を基に福祉保健センターの組織改正について説明。)
会 長	何か意見があるか。
委 員	福祉保健センター、社会福祉協議会と連携して情報を市民へ伝えていければ、組織改正の趣旨が活きるだろう。
会長	福祉保健センター内での部門が連携を充分とれるようにすることが重要だ。 多職種連携、部署間連携をとることで住民にとってわかりやすい行政を期待する。
会長	■議事 (2) 福祉保健センターにおける主な事業の取組状況について 事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料2, 3, 4を基に保健政策・感染症対策担当及び健康づくり担当がそれぞれ説明。)
会長	何か質問、意見等はあるか。
委員	禁煙チャレンジ教室は半年間で実施するのか？
事務局	期間は3か月の予定である。最初に測定、栄養や運動の講義を実施する。その後埼玉県コバトン栄養健康アプリを使用して保健師が体重、血圧、禁煙状況などについてサポートを3か月行う。

委員	成績は出るのか。
事務局	前年度肺がん検診の受診者の中から、禁煙チャレンジ教室の周知を行う予定である。
委員	継続して実施する中で成績を出して頂きたい。
会長	保健事業の参加者を広げる必要がある。健康無関心層の人に対しても情報を発信していくことは重要だ。
事務局	さらなる事業拡大、包括連携先の拡大は必要と考える。
会長	包括連携協定を締結している女子栄養大学との取り組みについては。
事務局	すこやか TODA 弁当・すこやか TODA 定食に関して。 女子栄養大学の教授、学生が栄養について分析を行った上で、メニュー作成している。
会長	ターゲットになる人にどう伝えるかの戦略や、延べ人数ではなく実質の人数を広げるための仕掛けが必要だ。
委員	服部幸應氏による食育講演会はお年寄りの参加も多く盛況であった。今後も同様の講演があると地域の輪が広がるのではないかな。
会長	集客が見込める事業は規模拡大が必要だ。食事や栄養に関する内容については、包括連携協定を締結している女子栄養大学に依頼するのも良いかと考える。
	■議事 (3) その他
会長	何か意見はあるか。
委員	高齢者は皆健康に関心があるが、若い世代は健康に関心があるとは限らない。 小・中・高校生など全体に健康教育を行える機会を毎年積み上げることで、その世代の層に基礎教育を図ることができると思う。 戸田市は子育て世代が多いので、子どもと保護者をどちらも対象とした健康教育を実施できれば良いと考える。
会長	今年度の事業実施に関する評価について、ありのままを評価し、課題については少しずつでも働きかけることが重要。 若い世代から健康づくりができる体制があれば、市民全体の健康感が高まると思

事務局	う。 今後の協議会の開催について。 スマートウェルネスシティ推進プランを策定して1年が経過し、各事業の評価について本協議会で報告することを踏まえ、令和7年度については年に2回の開催を予定している。 ■閉会 以上
-----	--